

### Ⅲ 調査結果の分析 (在勤者意識調査)



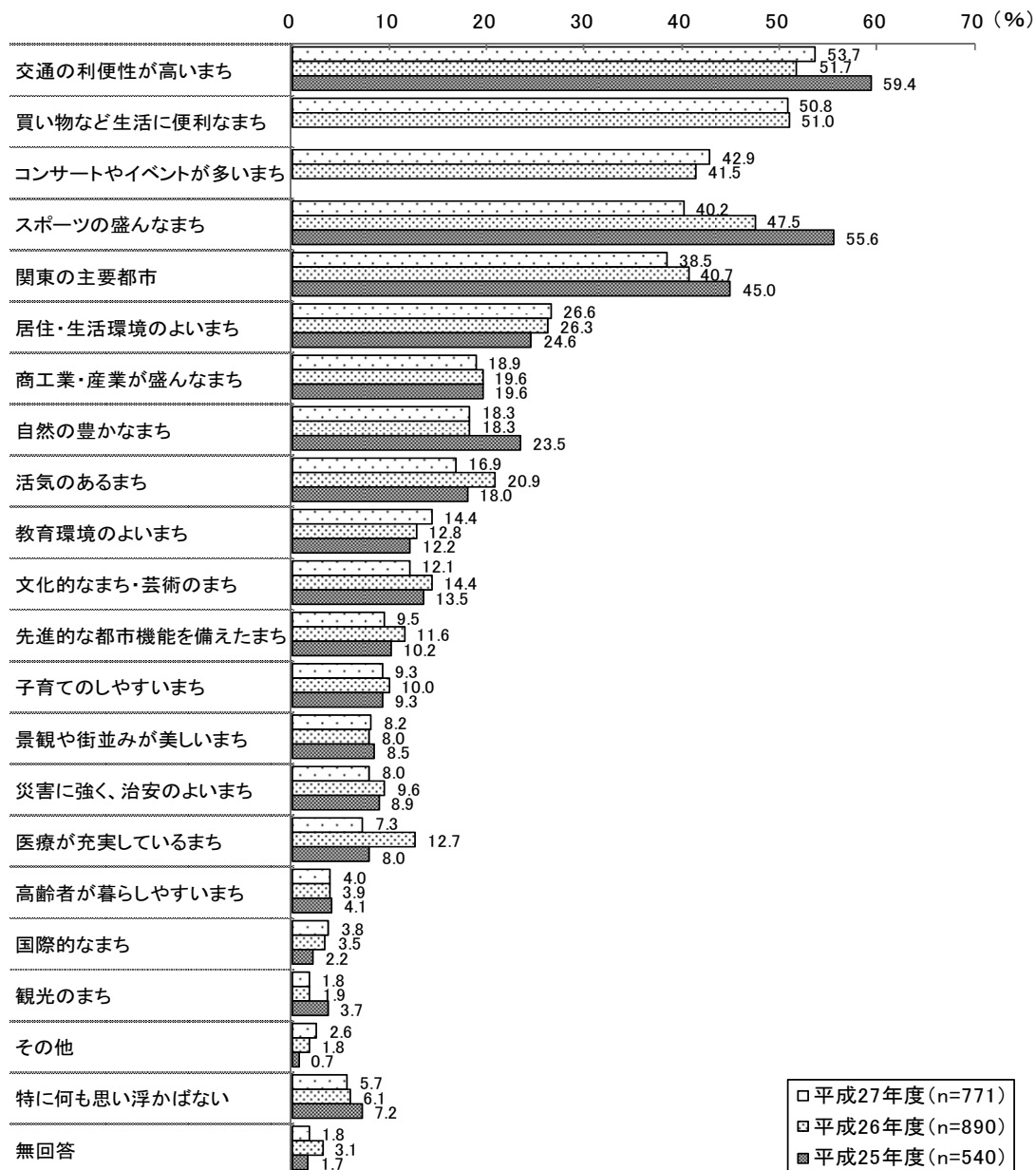
# 1. さいたま市のイメージ

## (1) さいたま市のイメージ

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

図1-1-1 さいたま市のイメージ



(注記) 平成26年度から、「買い物など生活に便利なまち」「コンサートやイベントが多いまち」を追加した。  
平成27年度から、項目の表現を一部変更し、「居住・生活環境のすぐれたまち」を「居住・生活環境のよいまち」、「高齢者・障害者が暮らしやすいまち」を「高齢者が暮らしやすいまち」、「教育環境の豊かなまち」を「教育環境のよいまち」、「国際性豊かなまち」を「国際的なまち」とした。

## 全体結果

「交通の利便性が高いまち」(53.7%)、「買い物など生活に便利なまち」(50.8%) がともに半数を超え、次いで「コンサートやイベントが多いまち」(42.9%)、「スポーツが盛んなまち」(40.2%)、「関東の主要都市」(38.5%)が続いている。

過去2年間の調査結果と比較すると、「スポーツの盛んなまち」「関東の主要都市」が減少傾向にある。(図1-1-1)

## 属性別

上位10項目について、性別で見ると、「交通の利便性が高いまち」は男女とも半数を超えた。「買い物など生活に便利なまち」「コンサートやイベントが多いまち」は、女性の方が男性よりも10ポイント近く多く、「スポーツの盛んなまち」「関東の主要都市」は、男性の方が女性よりも10ポイント以上多くなっている。

年代別で見ると、「買い物など生活に便利なまち」は、30代(60.3%)で6割を占め、「関東の主要都市」は60代(56.7%)で半数を超えている。

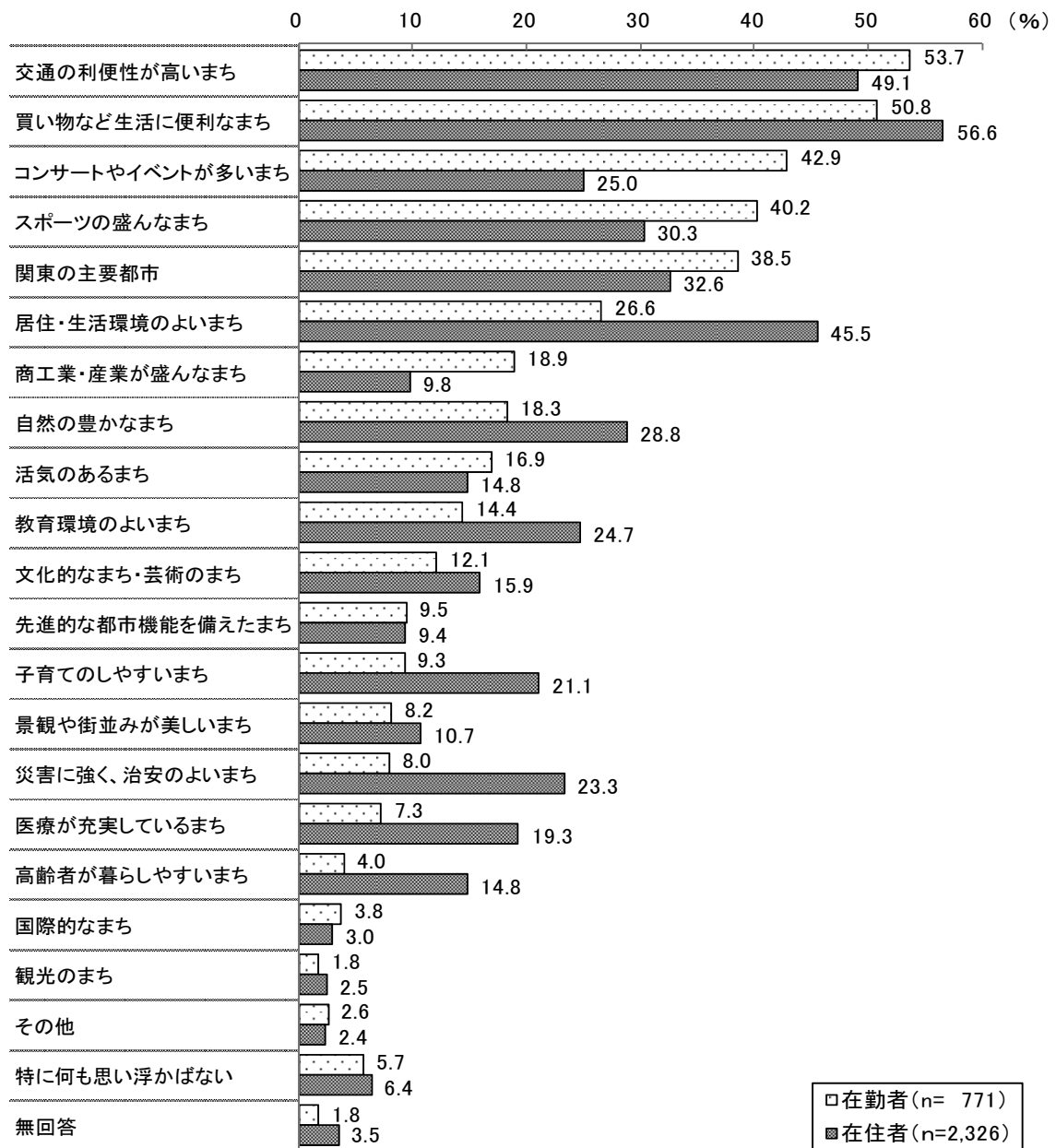
居住地域別で見ると、地域によってさいたま市のイメージに差が出ている。近隣市北部、埼玉県西部地域及び秩父地域では「買い物など生活に便利なまち」が6割以上と多く、東京都23区では、「スポーツの盛んなまち」(42.9%)が4割を占め最も多くなっている。また、東京都23区では、「交通の利便性が高いまち」(29.5%)、「買い物など生活に便利なまち」(27.7%)が3割未満と、その他の地域を大きく下回っている。(表1-1-1)

表 1-1-1 さいたま市のイメージ-性別、年代別、居住地域別（上位 10 項目）

												(%)
	n	交通の利便性が高いまち	買い物など生活に便利なまち	コンサートやイベントが多いまち	スポーツの盛んなまち	関東の主要都市	居住・生活環境のよいまち	商工業・産業が盛んなまち	自然の豊かなまち	活気のあるまち	教育環境のよいまち	
全 体	771	53.7	50.8	42.9	40.2	38.5	26.6	18.9	18.3	16.9	14.4	
< 性別 >												
男 性	468	53.8	48.1	39.5	44.9	44.2	27.8	21.2	19.4	18.6	14.7	
女 性	303	53.5	55.1	48.2	33.0	29.7	24.8	15.5	16.5	14.2	13.9	
< 年代別 >												
20 代	125	46.4	56.0	50.4	39.2	32.0	26.4	14.4	15.2	24.0	6.4	
30 代	151	50.3	60.3	50.3	41.7	39.1	30.5	18.5	18.5	16.6	11.9	
40 代	236	54.2	53.8	44.9	40.3	33.1	26.3	19.5	13.1	18.6	14.8	
50 代	192	59.9	40.6	35.4	39.1	43.8	25.5	20.8	25.5	12.0	20.3	
60 代	60	53.3	36.7	28.3	41.7	56.7	25.0	23.3	20.0	11.7	15.0	
70 歳以上	7	71.4	57.1	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	
< 居住地域別 >												
近 隣 市 北 部	138	66.7	68.8	49.3	37.7	33.3	26.1	18.8	14.5	18.1	15.2	
近 隣 市 南 部	88	51.1	54.5	45.5	46.6	31.8	33.0	14.8	22.7	19.3	28.4	
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	88	60.2	62.5	56.8	38.6	45.5	28.4	33.0	17.0	20.5	9.1	
埼 玉 県 東 部 地 域	195	50.3	45.1	35.9	37.4	39.5	22.6	19.0	14.4	17.9	9.7	
埼 玉 県 北 部 地 域	34	76.5	58.8	61.8	23.5	47.1	29.4	20.6	14.7	11.8	17.6	
東 京 都 23 区	112	29.5	27.7	38.4	42.9	35.7	27.7	9.8	24.1	8.9	16.1	
そ の 他 の 東 京 都	24	45.8	37.5	33.3	50.0	54.2	41.7	20.8	20.8	12.5	12.5	
千 葉 県	33	57.6	42.4	27.3	51.5	27.3	15.2	21.2	33.3	12.1	9.1	
神 奈 川 県	16	43.8	37.5	31.3	56.3	50.0	25.0	12.5	25.0	31.3	25.0	
そ の 他	39	74.4	61.5	41.0	38.5	43.6	23.1	23.1	12.8	23.1	10.3	

(2) さいたま市のイメージ【在住者と在勤者比較】

図1-2-1 さいたま市のイメージ（在住者と在勤者比較）



全体結果

「コンサートやイベントが多いまち」「スポーツの盛んなまち」「関東の主要都市」「商工業・産業がさかんなまち」などのイメージは、在勤者が在住者を大きく上回っている。一方、「居住・生活環境のよいまち」「災害に強く、治安のよいまち」など、居住することでその良さを実感できる項目は、在勤者が在住者を下回り、そのイメージが在勤者に十分伝わっていない。(図1-2-1)

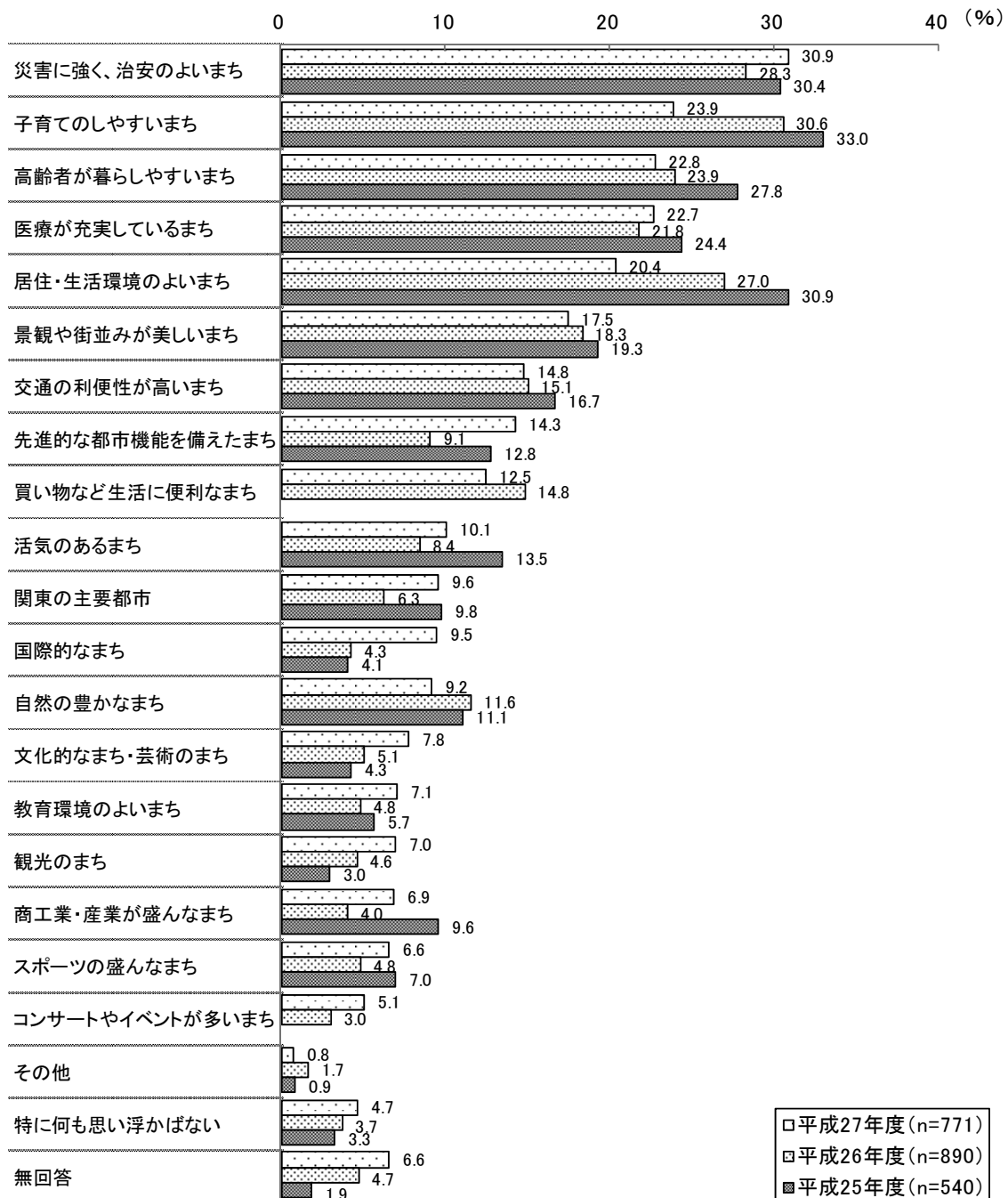
(3) さいたま市の発展の方向性

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(2) あなたは、「さいたま市」が今後どのような方向へ発展してほしいと思いますか。

(○は3つまで)

図1-3-1 さいたま市の発展の方向性



(注記) 平成26年度までは、「誰もが住んでみたいと思う魅力的な都市になるためには、将来どのような方向へ発展すればよいと思いますか。」と質問した。

平成26年度から、「買い物など生活に便利なまち」「コンサートやイベントが多いまち」を追加した。

平成27年度から、項目の表現を一部変更し、「居住・生活環境のすぐれたまち」を「居住・生活環境のよいまち」、「高齢者・障害者が暮らしやすいまち」を「高齢者が暮らしやすいまち」、「教育環境の豊かなまち」を「教育環境のよいまち」、「国際性豊かなまち」を「国際的なまち」とした。

## 全体結果

市の発展の方向性を3つまで聞いたところ、「災害に強く、治安のよいまち」(30.9%)が最も多く、次いで「子育てのしやすいまち」(23.9%)、「高齢者が暮らしやすいまち」(22.8%)、「医療が充実しているまち」(22.7%)、「居住・生活環境のよいまち」(20.4%)が続いている。

過去2年間の調査結果と比較すると、上位項目を中心に減少傾向にあり、特に「子育てのしやすいまち」「居住・生活環境のよいまち」は、昨年よりも5ポイント以上減少している。

(図1-3-1)

## 属性別

上位10項目について、性別でみると、「子育てのしやすいまち」「高齢者が暮らしやすいまち」は、女性の方が男性よりも多くなっている。

年代別でみると、「災害に強く、治安のよいまち」は、年代があがるにつれ多くなっており、60代(38.3%)で4割近くと多くなっている。また、「子育てのしやすいまち」は、20~30代で約3割、「高齢者が暮らしやすいまち」「医療が充実しているまち」は、50代で約3割と、それぞれ多くなっている。

居住地域別でみると、「子育てのしやすいまち」は、近隣市北部(34.8%)で3割を超え、「医療が充実しているまち」は、近隣市南部(29.5%)で3割に迫り多くなっている。また、「交通の利便性が高いまち」は、東京都23区(25.0%)で2割を超えて上位項目となっている。(表1-3-1)

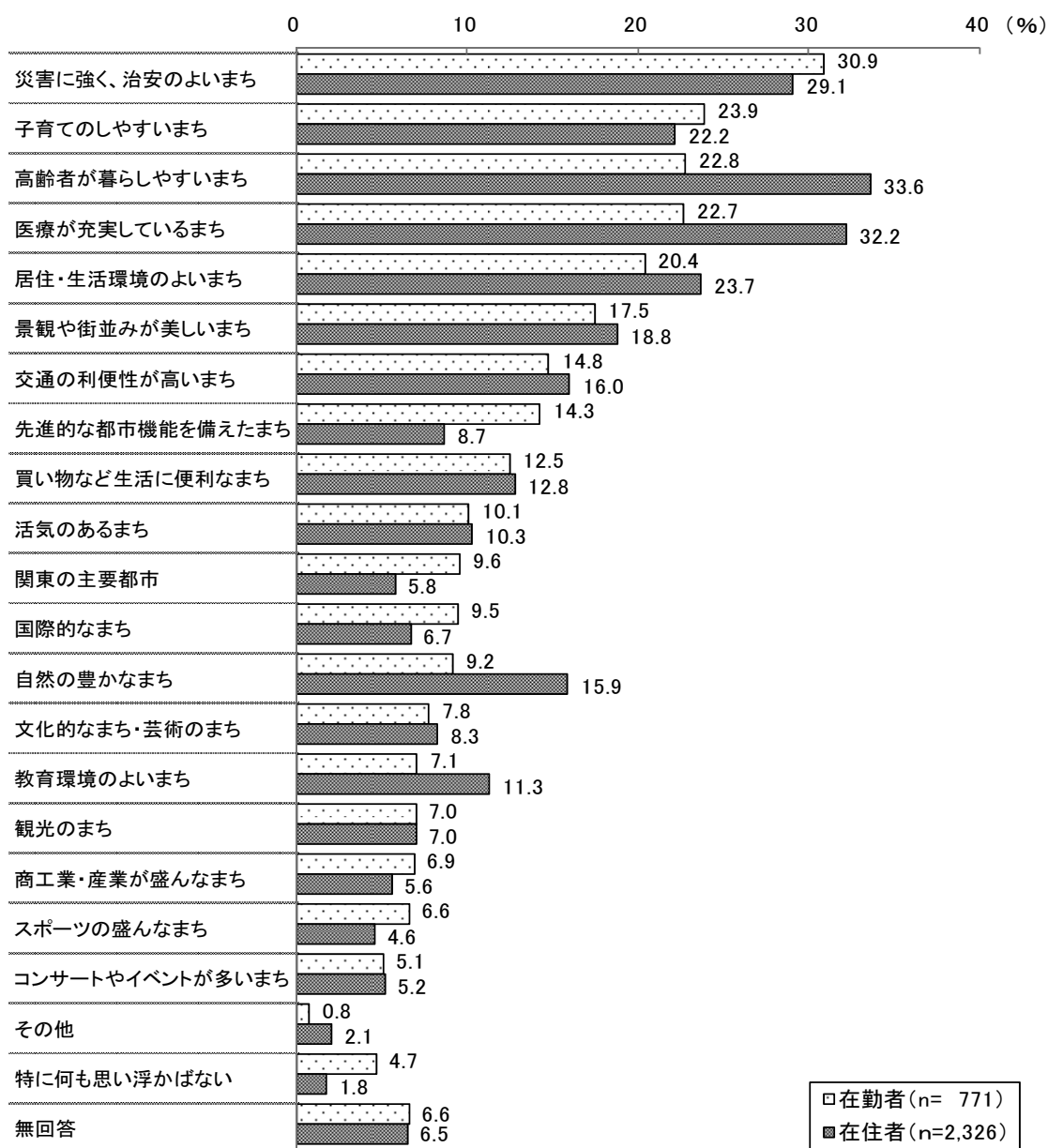


表 1-3-1 さいたま市の発展の方向性－性別、年代別、居住地域別（上位 10 項目）

												(%)
	n	災害に強く、治安のよいまち	子育てのしやすいまち	高齢者が暮らしやすいまち	医療が充実しているまち	居住・生活環境のよいまち	景観や街並みが美しいまち	交通の利便性が高いまち	先進的な都市機能を備えたまち	買い物など生活に便利なまち	活気のあるまち	
全 体	771	30.9	23.9	22.8	22.7	20.4	17.5	14.8	14.3	12.5	10.1	
< 性別 >												
男 性	468	29.9	21.8	20.3	21.6	20.5	17.5	15.6	15.0	12.4	10.5	
女 性	303	32.3	27.1	26.7	24.4	20.1	17.5	13.5	13.2	12.5	9.6	
< 年代別 >												
20 代	125	28.8	29.6	16.0	15.2	16.0	19.2	20.0	18.4	16.0	10.4	
30 代	151	28.5	32.5	15.9	21.9	15.2	13.2	16.6	18.5	13.9	7.9	
40 代	236	29.2	19.9	24.2	22.9	23.3	16.5	12.3	11.4	9.7	11.0	
50 代	192	34.4	21.9	30.2	29.7	21.9	19.3	12.5	10.9	13.0	9.9	
60 代	60	38.3	15.0	21.7	16.7	25.0	25.0	16.7	18.3	11.7	11.7	
70 歳以上	7	14.3	0.0	57.1	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	
< 居住地域別 >												
近 隣 市 北 部	138	34.1	34.8	28.3	26.8	21.7	18.1	13.8	13.0	13.0	8.0	
近 隣 市 南 部	88	35.2	18.2	19.3	29.5	18.2	15.9	17.0	14.8	9.1	4.5	
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	88	27.3	23.9	21.6	21.6	22.7	13.6	9.1	11.4	9.1	18.2	
埼 玉 県 東 部 地 域	195	29.7	24.1	24.1	20.5	19.0	16.4	11.8	13.3	14.9	8.7	
埼 玉 県 北 部 地 域	34	44.1	23.5	20.6	23.5	26.5	32.4	5.9	8.8	11.8	20.6	
東 京 都 23 区	112	28.6	18.8	22.3	19.6	17.9	17.0	25.0	12.5	10.7	8.9	
そ の 他 の 東 京 都	24	25.0	12.5	12.5	16.7	25.0	20.8	20.8	12.5	12.5	20.8	
千 葉 県	33	30.3	21.2	21.2	15.2	27.3	15.2	24.2	27.3	15.2	9.1	
神 奈 川 県	16	25.0	18.8	12.5	12.5	18.8	31.3	6.3	25.0	31.3	18.8	
そ の 他	39	25.6	25.6	17.9	25.6	15.4	15.4	12.8	23.1	7.7	5.1	

(4) さいたま市の発展の方向性【在住者と在勤者比較】

図1-4-1 さいたま市の発展の方向性（在住者と在勤者比較）



全体結果

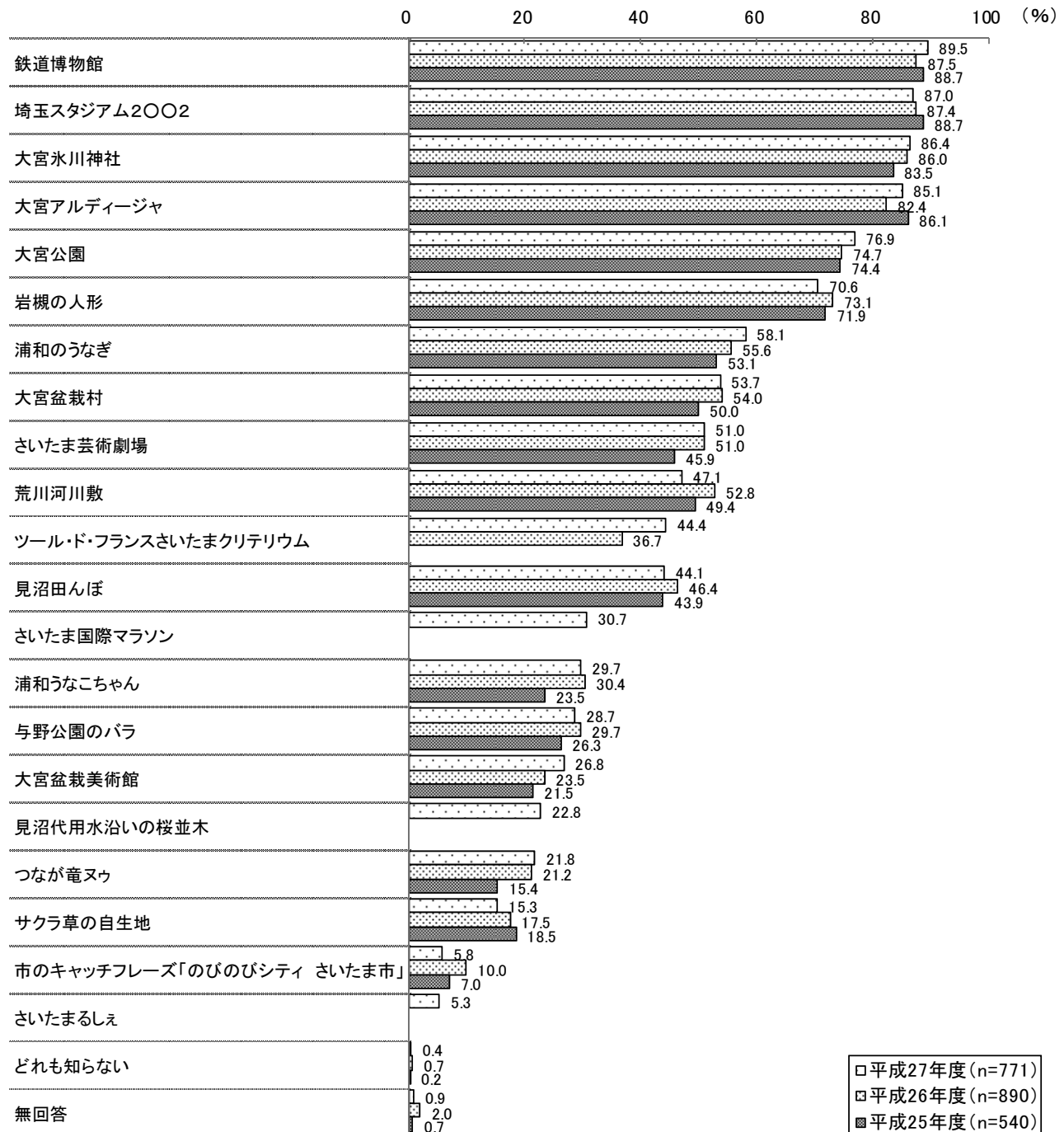
上位6項目は、在勤者、在住者とも共通しており、ともに少子高齢化対策と安心・安全な暮らしへのニーズが多くなっている。

「高齢者が暮らしやすいまち」で、在勤者（22.8%）と在住者（33.6%）に大きな差があるのは、在勤者調査で高齢者のサンプル数が少ないことが影響している。（図1-4-1）

(5) さいたま市について知っているもの

問2 「さいたま市内」にある以下の施設、名所、特産品、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図1-5-1 さいたま市について知っているもの



(注記) 平成27年度調査から、「見沼代用水沿いの桜並木」「さいたま国際マラソン」「さいたまるしえ」を追加した。また、「さいたまクリテリウム by ツール・ド・フランス」は、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」に名称を変更した。

## 全体結果

「鉄道博物館」(89.5%)、「埼玉スタジアム2002」(87.0%)、「大宮氷川神社」(86.4%)、「大宮アルディージャ」(85.1%)の認知率が8割を超えている。

過去2年間の調査結果と比較すると、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」(44.4%)の認知率が10ポイント近く増加しており、「浦和のうなぎ」(58.1%)、「大宮盆栽美術館」(26.8%)の認知率も、年々増加傾向にある。(図1-5-1)

## 属性別

上位10項目について、性別で見ると、「大宮氷川神社」は、女性(91.4%)の方が男性(83.1%)よりも多く、「大宮アルディージャ」は、男性(88.5%)の方が女性(79.9%)よりも多くなっている。

年代別で見ると、20代の認知率が、「大宮アルディージャ」(81.6%)を除く9項目すべてで、その他の年代よりも10~20ポイント程度低くなっている。

居住地域別で見ると、上位3項目の認知率は、埼玉県内で9割前後に達している。また、東京都23区の認知率は、上位10項目中6項目で、全体結果を10~20ポイント程度下回っている。

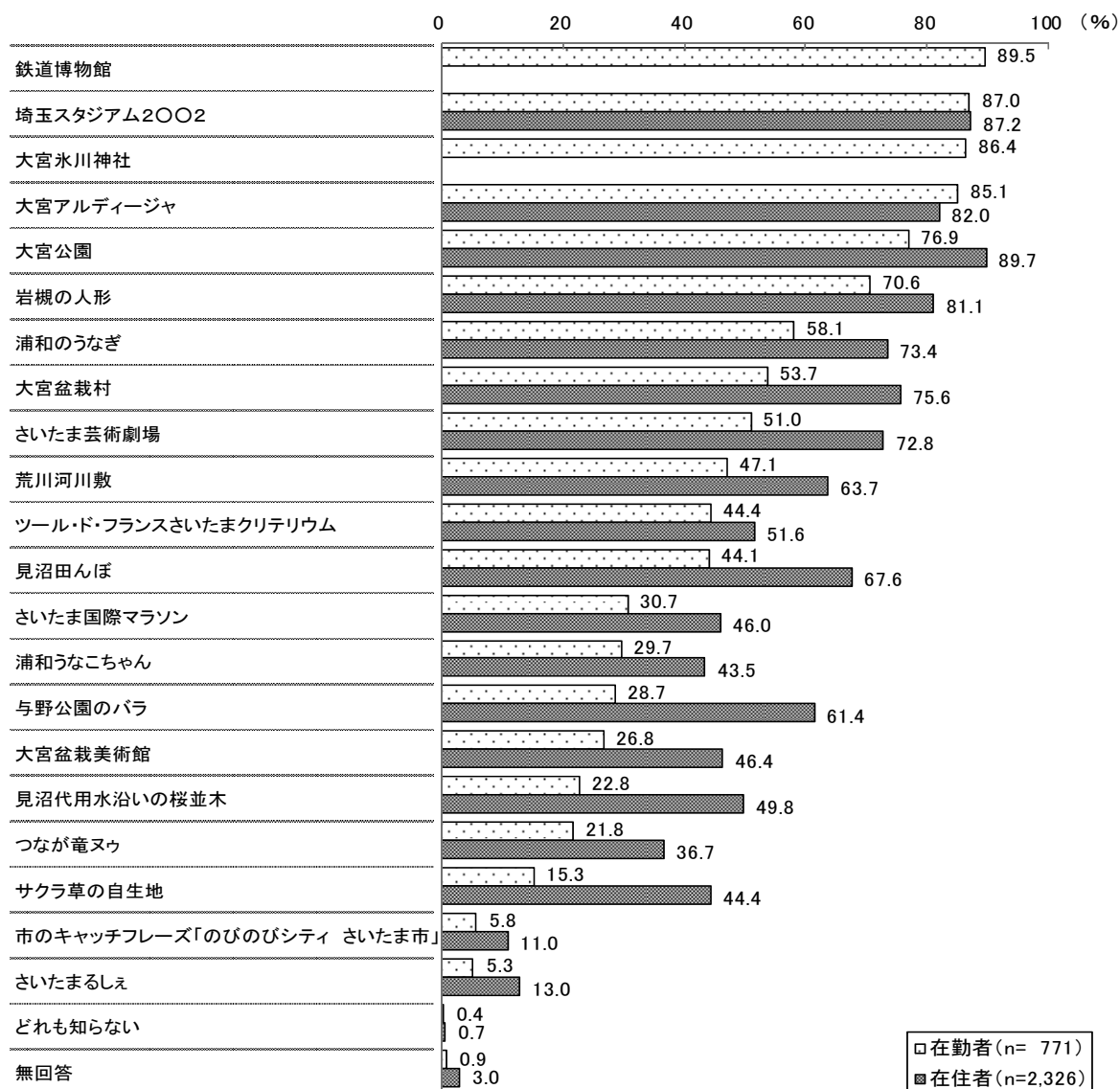
(表1-5-1)

表 1-5-1 さいたま市について知っているもの—性別、年代別、居住地域別（上位 10 項目）

												(%)
	n	鉄道博物館	埼玉スタジアム 2002	大宮氷川神社	大宮アルディージャ	大宮公園	岩槻の人形	浦和のうなぎ	大宮盆栽村	さいたま芸術劇場	荒川河川敷	
全 体	771	89.5	87.0	86.4	85.1	76.9	70.6	58.1	53.7	51.0	47.1	
< 性別 >												
男 性	468	88.2	88.7	83.1	88.5	76.1	71.2	59.8	55.6	49.1	50.9	
女 性	303	91.4	84.5	91.4	79.9	78.2	69.6	55.4	50.8	53.8	41.3	
< 年代別 >												
20 代	125	75.2	74.4	71.2	81.6	64.8	44.0	37.6	23.2	29.6	20.8	
30 代	151	90.1	87.4	84.8	82.8	73.5	62.9	53.0	49.7	45.7	44.4	
40 代	236	91.9	89.8	91.1	88.1	80.1	73.3	60.6	59.3	58.1	50.0	
50 代	192	94.8	90.1	90.6	88.5	80.2	84.4	67.7	65.6	57.8	55.7	
60 代	60	91.7	91.7	91.7	78.3	88.3	90.0	70.0	68.3	60.0	66.7	
70 歳以上	7	85.7	85.7	71.4	57.1	71.4	71.4	85.7	42.9	42.9	71.4	
< 居住地域別 >												
近 隣 市 北 部	138	94.9	93.5	94.2	89.9	88.4	74.6	60.1	76.8	68.1	52.9	
近 隣 市 南 部	88	88.6	90.9	87.5	85.2	80.7	77.3	70.5	46.6	60.2	55.7	
埼玉県西部及び秩父地域	88	93.2	88.6	86.4	87.5	81.8	64.8	62.5	54.5	59.1	55.7	
埼玉県東部地域	195	88.2	90.3	91.8	84.1	87.2	87.7	54.4	59.0	46.7	49.7	
埼玉県北部地域	34	100.0	79.4	97.1	94.1	82.4	64.7	58.8	52.9	44.1	47.1	
東京都 23 区	112	81.3	81.3	70.5	79.5	52.7	43.8	54.5	34.8	41.1	32.1	
その他の東京都	24	87.5	87.5	75.0	87.5	66.7	62.5	58.3	41.7	29.2	45.8	
千葉県	33	84.8	72.7	72.7	75.8	54.5	60.6	57.6	30.3	27.3	30.3	
神奈川県	16	87.5	62.5	81.3	81.3	62.5	62.5	68.8	56.3	56.3	31.3	
そ の 他	39	89.7	79.5	84.6	82.1	59.0	64.1	35.9	35.9	33.3	41.0	

(6) さいたま市について知っているもの【在住者と在勤者比較】

図 1-6-1 さいたま市について知っているもの（在住者と在勤者比較）



(注記) 平成 26 年度調査で在住者の認知率が 95%を超えた「鉄道博物館」「大宮氷川神社」は、平成 27 年度調査から在住者の選択肢からのみ除いた。

全体結果

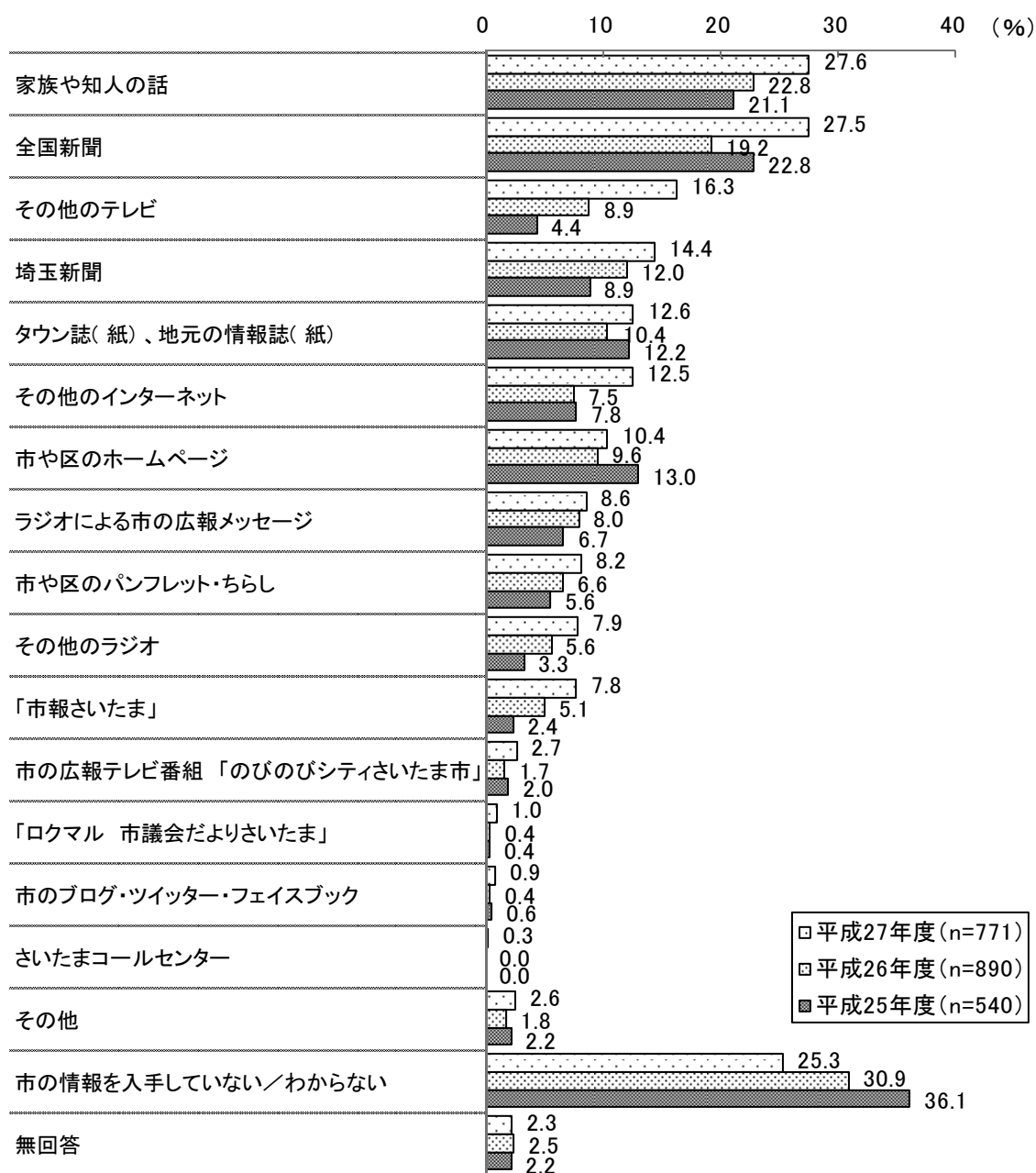
「埼玉スタジアム2002」「大宮アルディージャ」は、在勤者、在住者とも認知率が高くなっているが、その他のすべての項目で、在勤者が在住者を大きく下回っている。特に「与野公園のバラ」(28.7%)で30ポイント以上の差が開いている。(図1-6-1)

(7) さいたま市が発信する情報の入手方法

問3 あなたは、さいたま市役所が発信する情報をどのような方法で入手していますか。

(○はいくつでも)

図1-7-1 さいたま市が発信する情報の入手方法



(注記) 平成26年度までは、「あなたは、さいたま市が発信する情報をどのような方法で入手していますか。」と質問した。

平成27年度から、項目の表現を一部変更し、「自治会や町内会の回覧板・掲示板」を「自治会の回覧板・掲示板」とした。

## 全体結果

「家族や知人の話」(27.6%)、「全国新聞」(27.5%)が多く、「市や区のホームページ」(10.4%)など、市が発信する情報を入手している在勤者はわずかとなっている。

過去2年間の調査結果と比較すると、各項目はおおむね増加傾向にあり、「市の情報を入手していない／わからない」(25.3%)は、毎年5ポイント以上減少し続けている。(図1-7-1)

## 属性別

上位10項目について、性別で見ると、男性は「全国新聞」(31.6%)が3割以上、女性は「家族や知人の話」(37.0%)が約4割と多くなっている。

年代別で見ると、「全国新聞」は、年代が上がるにつれ多くなる傾向にあり、60代(41.7%)で4割に達している。

居住地域別で見ると、地域で傾向に大きな違いはみられない。(表1-7-1)

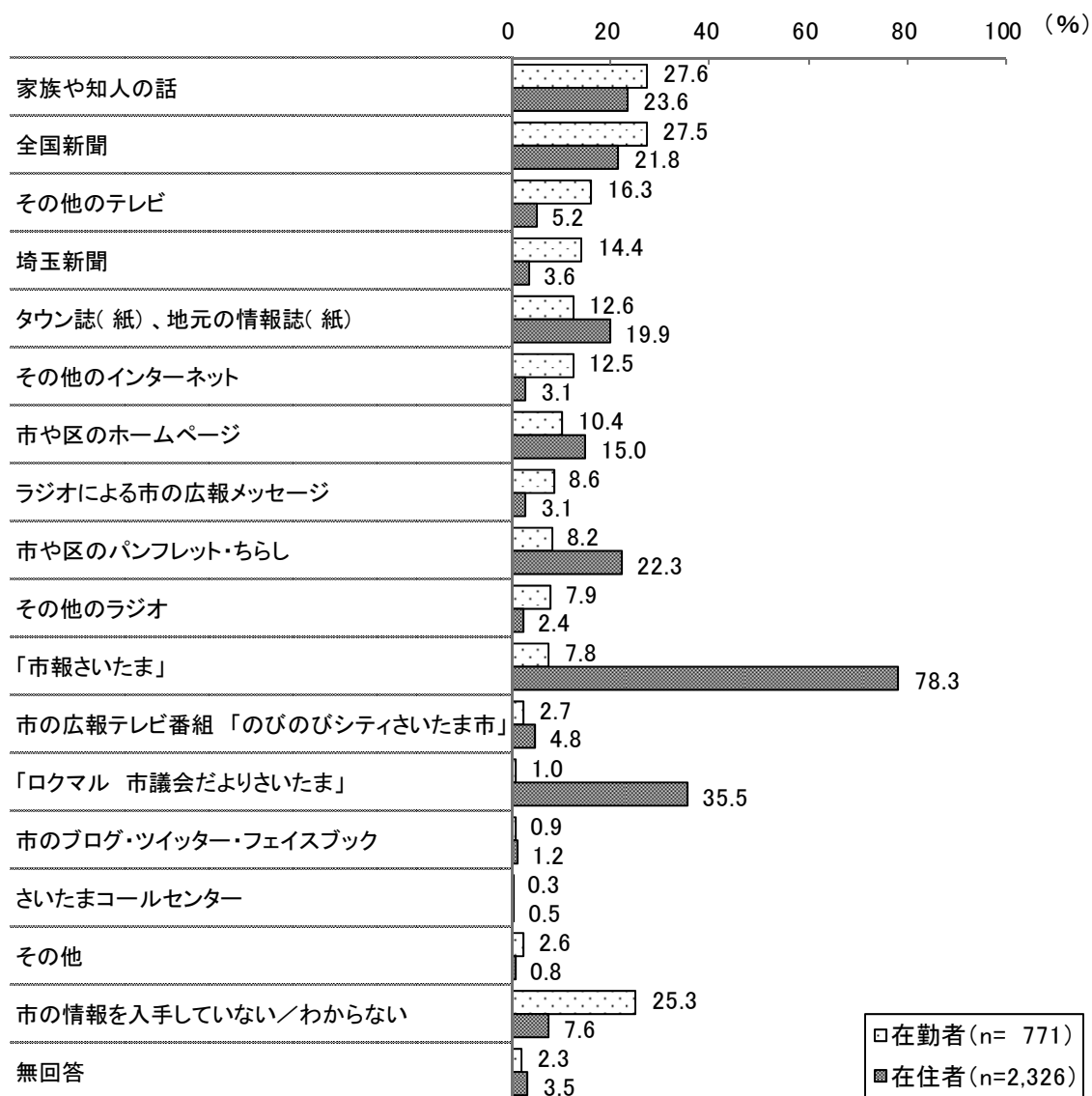


表 1-7-1 さいたま市が発信する情報の入手方法—性別、年代別、居住地域別（上位 10 項目）

		(%)										
	n	家族や知人の話	全国新聞	その他のテレビ	埼玉新聞	地元の情報誌（紙） 、 （紙）	タウン誌（紙） 、 （紙）	その他のインターネット	市や区のホームページ	ラジオによる市の広報	市や区のパンフレット・ちらし	その他のラジオ
全 体	771	27.6	27.5	16.3	14.4	12.6	12.5	10.4	8.6	8.2	7.9	
< 性 別 >												
男 性	468	21.6	31.6	18.4	15.2	11.5	13.2	12.0	10.7	8.8	9.0	
女 性	303	37.0	21.1	13.2	13.2	14.2	11.2	7.9	5.3	7.3	6.3	
< 年 代 別 >												
20 代	125	31.2	13.6	18.4	13.6	7.2	12.8	6.4	6.4	3.2	10.4	
30 代	151	33.1	21.9	17.2	7.9	15.2	19.9	8.6	11.3	7.9	8.6	
40 代	236	25.0	28.8	10.2	14.0	12.7	8.1	9.7	9.7	6.4	6.8	
50 代	192	22.9	34.9	19.3	20.8	15.1	14.6	16.1	8.3	11.5	8.3	
60 代	60	35.0	41.7	23.3	13.3	10.0	5.0	8.3	3.3	15.0	5.0	
70 歳 以 上	7	0.0	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	
< 居 住 地 域 別 >												
近 隣 市 北 部	138	31.9	32.6	16.7	16.7	19.6	15.2	8.7	5.1	8.7	6.5	
近 隣 市 南 部	88	28.4	23.9	18.2	12.5	15.9	17.0	9.1	9.1	8.0	9.1	
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	88	26.1	22.7	14.8	18.2	11.4	11.4	10.2	18.2	8.0	6.8	
埼 玉 県 東 部 地 域	195	30.3	26.7	12.8	12.3	10.8	9.7	11.8	8.2	6.7	8.2	
埼 玉 県 北 部 地 域	34	26.5	35.3	17.6	20.6	17.6	14.7	14.7	5.9	5.9	17.6	
東 京 都 23 区	112	28.6	25.0	14.3	11.6	8.0	12.5	8.0	7.1	7.1	8.0	
そ の 他 の 東 京 都	24	12.5	37.5	20.8	29.2	0.0	16.7	16.7	4.2	4.2	0.0	
千 葉 県	33	24.2	27.3	12.1	6.1	15.2	9.1	9.1	6.1	12.1	3.0	
神 奈 川 県	16	25.0	31.3	31.3	31.3	6.3	12.5	12.5	12.5	18.8	18.8	
そ の 他	39	12.8	25.6	33.3	5.1	7.7	7.7	12.8	10.3	15.4	7.7	

(8) さいたま市が発信する情報の入手方法【在住者と在勤者比較】

図1-8-1 さいたま市が発信する情報の入手方法（在住者と在勤者比較）



全体結果

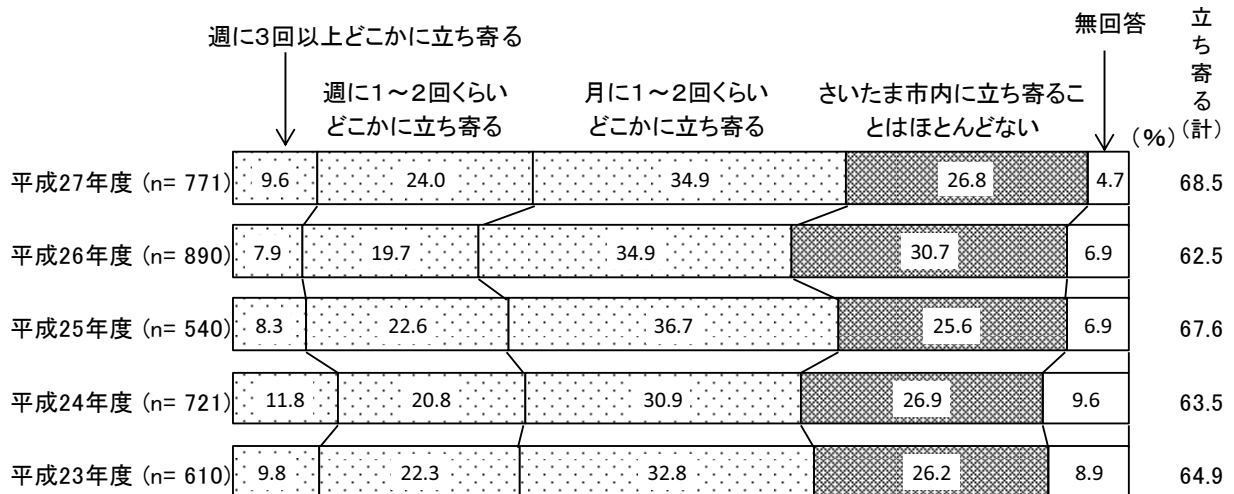
「市報さいたま」は、在住者（78.3%）で約8割と突出しているが、在勤者（7.8%）では1割にも満たない。在勤者は、主に「家族や知人の話」（27.6%）、「全国新聞」（27.5%）から情報入手している。（図1-8-1）

## 2. 市内での活動

### (1) 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度

問4 あなたは、お仕事が終わったあと、食事や買い物などでさいたま市内のどこかに立ち寄ることがありますか。(〇は1つ)

図2-1-1 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度



(注記) 『立ち寄る(計)』は、「週に3回以上どこかに立ち寄る」「週に1~2回くらいどこかに立ち寄る」「月に1~2回くらいどこかに立ち寄る」の合計

#### 全体結果

「月に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(34.9%)が最も多く、「週に3回以上どこかに立ち寄る」(9.6%)、「週に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(24.0%)を合わせた『立ち寄る(計)』(68.5%)は、約7割となっている。

過去4年間の調査結果と比較すると、『立ち寄る(計)』は、わずかに増加傾向にある。

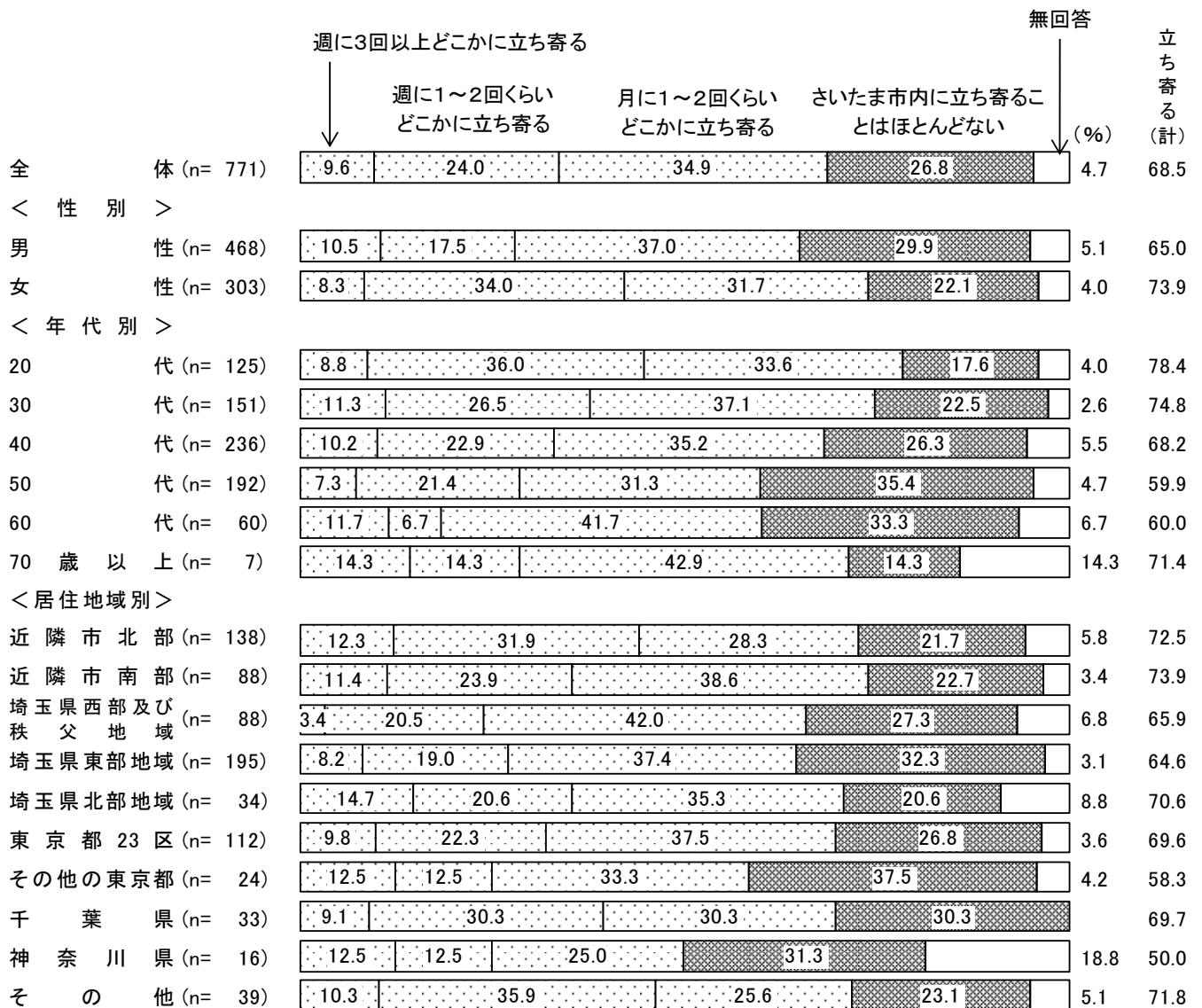
(図2-1-1)

## 属性別

性別でみると、『立ち寄る(計)』は、女性(73.9%)の方が男性(65.0%)よりも多くなっている。  
 年代別でみると、『立ち寄る(計)』は、年代が下がるにつれ多くなる傾向にあり、20代(78.4%)で8割近くを占めている。

居住地域別でみると、『立ち寄る(計)』は、近隣市南部(73.9%)と近隣市北部(72.5%)が、他の地域よりもやや多くなっている。(図2-1-2)

図2-1-2 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度－性別、年代別、居住地域別

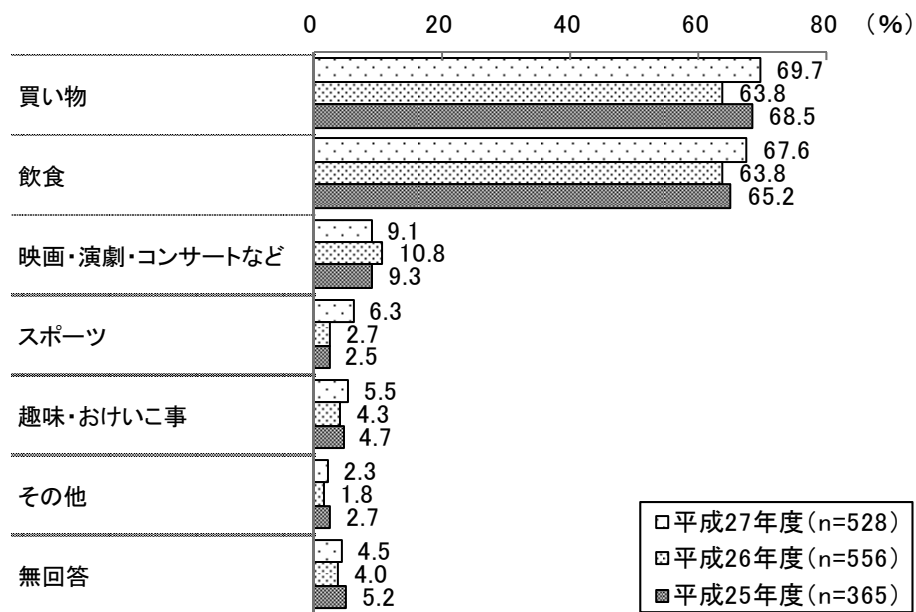


(2) 立ち寄る目的

(問4で、「週に3回以上どこかに立ち寄る」「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」と答えた方に)

問4-1 どのような目的で市内に立ち寄りますか。(〇はいくつでも)

図2-2-1 立ち寄る目的



全体結果

さいたま市に立ち寄る人に、その目的を聞いたところ、「買い物」(69.7%)と「飲食」(67.6%)が約7割で突出しており、その他の項目は1割に満たない。

過去2年間の調査結果と比較すると、ほぼ同じ傾向となっている。(図2-2-1)

## 属性別

性別でみると、男性は「飲食」(71.1%)が約7割、女性は「買い物」(87.1%)が9割近くと多くなっている。

年代別、居住地域別でも、「買い物」「飲食」が突出している。

また、東京都23区は「飲食」(75.6%)が多く、一方で「買い物」(56.4%)が少なくなっている。

(表2-2-1)

表2-2-1 立ち寄る目的—性別、年代別、居住地域別

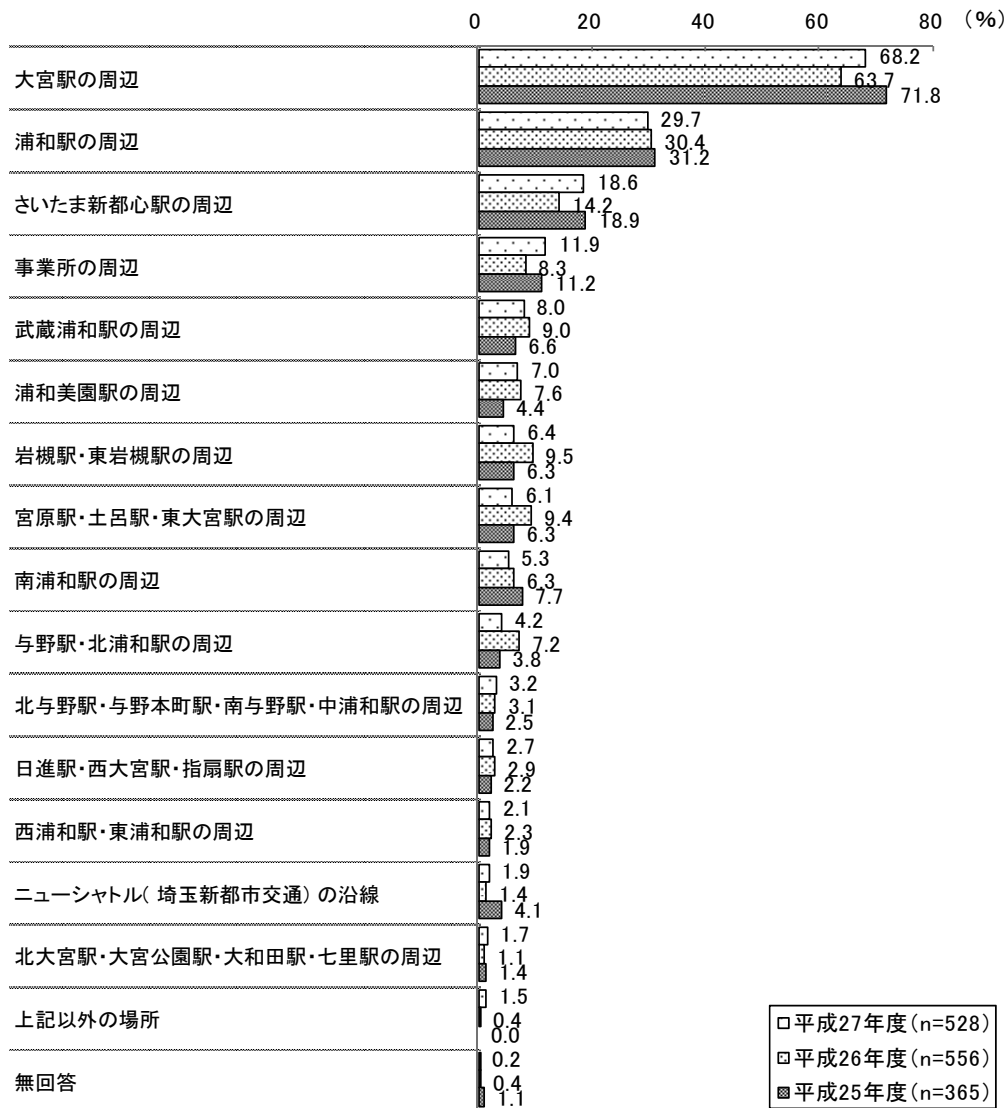
	n	買 い 物	飲 食	映 画 ・ 演 劇 ・ コ ン サ ー ト な ど	ス ポ ー ツ	趣 味 ・ お け い こ 事	そ の 他	無 回 答
全 体	528	69.7	67.6	9.1	6.3	5.5	2.3	4.5
< 性別 >								
男 性	304	56.9	71.1	6.6	7.9	2.3	2.3	3.6
女 性	224	87.1	62.9	12.5	4.0	9.8	2.2	5.8
< 年代別 >								
20 代	98	76.5	72.4	15.3	5.1	6.1	2.0	5.1
30 代	113	75.2	70.8	11.5	10.6	8.8	0.9	2.7
40 代	161	73.9	62.7	5.6	5.6	5.6	3.7	5.6
50 代	115	55.7	67.8	9.6	4.3	2.6	0.9	6.1
60 代	36	61.1	69.4	0.0	5.6	2.8	5.6	0.0
70 歳以上	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
< 居住地域別 >								
近 隣 市 北 部	100	83.0	61.0	14.0	5.0	8.0	1.0	3.0
近 隣 市 南 部	65	76.9	67.7	3.1	4.6	6.2	4.6	4.6
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	58	70.7	72.4	8.6	8.6	6.9	3.4	3.4
埼 玉 県 東 部 地 域	126	72.2	63.5	8.7	4.8	5.6	4.0	4.8
埼 玉 県 北 部 地 域	24	62.5	75.0	8.3	12.5	4.2	0.0	4.2
東 京 都 23 区	78	56.4	75.6	11.5	9.0	2.6	0.0	5.1
そ の 他 の 東 京 都	14	28.6	71.4	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1
千 葉 県	23	52.2	56.5	13.0	0.0	0.0	4.3	4.3
神 奈 川 県	8	62.5	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
そ の 他	28	75.0	71.4	3.6	7.1	7.1	0.0	10.7

(3) 立ち寄る場所

(問4で、「週に3回以上どこかに立ち寄る」「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」と答えた方に)

問4-2 立ち寄ることの多い場所はどのあたりですか。以下の中から最も近いものを選んでください。(〇はいくつでも)

図2-3-1 立ち寄る場所



全体結果

さいたま市に立ち寄る人に、立ち寄る場所を聞いたところ、「大宮駅の周辺」(68.2%)が突出して多く、次いで「浦和駅の周辺」(29.7%)、「さいたま新都心駅の周辺」(18.6%)と続いている。過去2年間の調査結果と比較すると、傾向に大きな違いはみられない。(図2-3-1)

## 属性別

上位 10 項目について、性別でみると、「さいたま新都心駅の周辺」は女性の方が男性よりもやや多くなっている。

年代別でみると、「大宮駅の周辺」は、すべての年代で最も多くなっており、特に 20 代（76.5%）が 7 割を超えている。

居住地域別でみると、「大宮駅の周辺」は近隣市北部（81.0%）が 8 割に達しており、「浦和駅の周辺」は、近隣市南部（63.1%）と東京都 23 区（46.2%）が、全体結果（29.7%）を大きく上回っている。（表 2-3-1）

表 2-3-1 立ち寄る場所—性別、年代別、居住地域別（上位 10 項目）

	n	大宮駅の周辺	浦和駅の周辺	さいたま新都心駅の周辺	事業所の周辺	武蔵浦和駅の周辺	浦和美園駅の周辺	岩槻駅・東岩槻駅の周辺	宮原駅・土呂駅・東大宮駅の周辺	南浦和駅の周辺	与野駅・北浦和駅の周辺	(%)
全体	528	68.2	29.7	18.6	11.9	8.0	7.0	6.4	6.1	5.3	4.2	
<性別>												
男性	304	68.8	28.6	15.5	11.8	9.5	8.2	7.2	5.6	4.3	4.6	
女性	224	67.4	31.3	22.8	12.1	5.8	5.4	5.4	6.7	6.7	3.6	
<年代別>												
20 代	98	76.5	36.7	18.4	5.1	11.2	4.1	1.0	3.1	6.1	3.1	
30 代	113	68.1	29.2	18.6	14.2	8.0	10.6	7.1	6.2	3.5	8.8	
40 代	161	67.7	21.1	20.5	12.4	8.7	5.6	8.1	7.5	5.6	2.5	
50 代	115	68.7	36.5	17.4	10.4	4.3	7.0	8.7	5.2	7.0	3.5	
60 代	36	50.0	30.6	16.7	25.0	8.3	11.1	5.6	11.1	0.0	2.8	
70 歳以上	5	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
<居住地域別>												
近隣市北部	100	81.0	21.0	21.0	15.0	3.0	0.0	0.0	17.0	0.0	4.0	
近隣市南部	65	50.8	63.1	16.9	10.8	15.4	20.0	3.1	1.5	21.5	4.6	
埼玉県西部及び秩父地域	58	74.1	13.8	19.0	8.6	8.6	1.7	1.7	3.4	8.6	5.2	
埼玉県東部地域	126	68.3	20.6	22.2	15.1	1.6	14.3	18.3	4.0	2.4	1.6	
埼玉県北部地域	24	83.3	20.8	20.8	12.5	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	
東京都 23 区	78	59.0	46.2	15.4	3.8	16.7	1.3	2.6	3.8	3.8	6.4	
その他の東京都	14	71.4	28.6	7.1	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	
千葉県	23	52.2	21.7	8.7	17.4	13.0	0.0	13.0	0.0	8.7	4.3	
神奈川県	8	75.0	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	
その他	28	78.6	25.0	17.9	14.3	7.1	7.1	10.7	3.6	0.0	3.6	

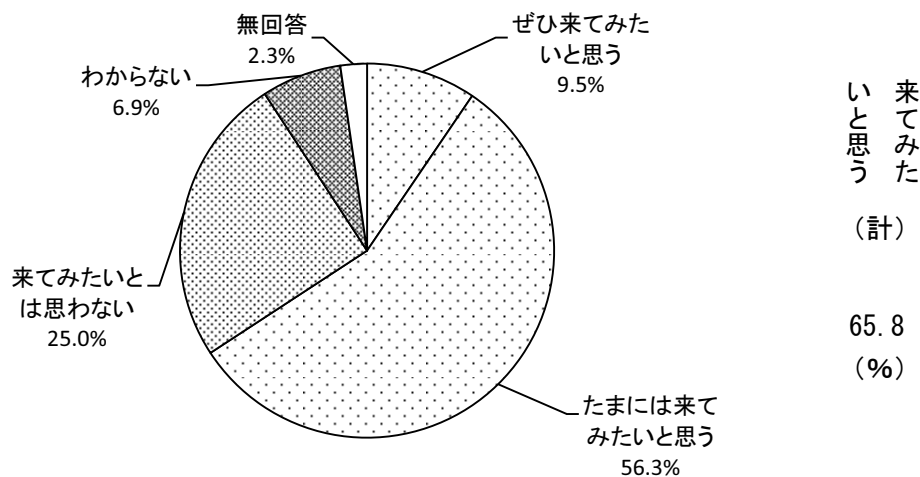


(4) 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向

問5 あなたは、仕事が休みの日に、買い物や遊びで、さいたま市に来てみたいと思いますか。

(○は1つ)

図2-4-1 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向 (n=771)



(注記) 『来てみたいと思う (計)』は、「ぜひ来てみたいと思う」「たまには来てみたいと思う」の合計

全体結果

「ぜひ来てみたいと思う」(9.5%)と「たまには来てみたいと思う」(56.3%)を合わせた『来てみたいと思う (計)』(65.8%)は、6割を超えている。(図2-4-1)

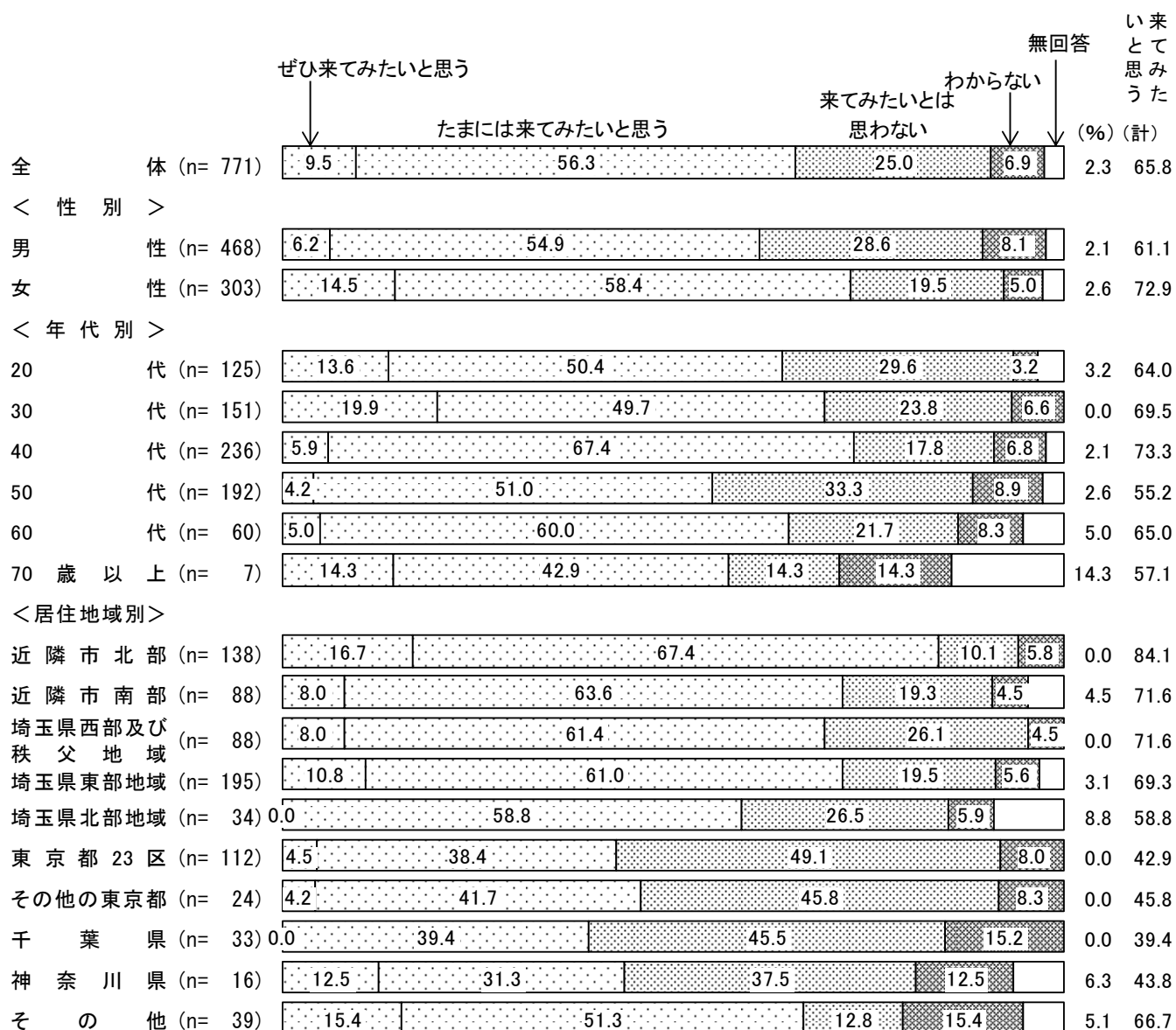
属性別

性別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、女性(72.9%)の方が男性(61.1%)よりも多くなっている。

年代別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、50代(55.2%)で、その他の年代よりも少なくなっている。

居住地域別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、近隣市北部(84.1%)で8割を超え最も多く、東京都23区(42.9%)と比べると、その差は40ポイント以上も開いている。(図2-4-2)

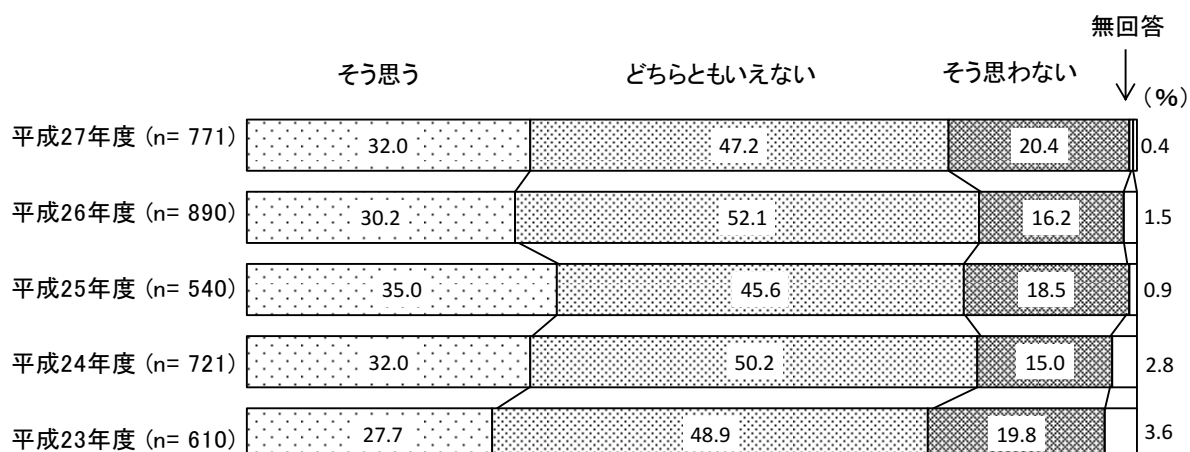
図 2-4-2 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向—性別、年代別、居住地域別



(5) さいたま市への定住意向

問6 あなたは、さいたま市は住んでみたくなるような都市だと思いますか。(○は1つ)

図2-5-1 さいたま市への定住意向



全体結果

「そう思う」(32.0%)が、「そう思わない」(20.4%)を上回っているものの、「どちらともいえない」(47.2%)が半数近くを占めている。(図2-5-1)

属性別

性別でみると、「そう思う」は、女性(36.3%)の方が男性(29.3%)よりもやや多くなっている。

年代別でみると、「そう思う」は、年代が下がるにつれ多くなっており、「どちらともいえない」は60代(60.0%)で6割に達している。

居住地域別でみると、「そう思う」は、近隣市北部(44.9%)で4割を超え、最も多くなっている。一方、東京都23区(21.4%)で約2割と、最も少なくなっている。(図2-5-2)

図 2-5-2 さいたま市への定住意向－性別、年代別、居住地域別

